

七高同窓会だより

第28号

Contents

- 1 巻頭ご挨拶 2 支部活動状況 6 本部活動状況 7 タイトル決定！
8 故郷新名所シリーズ 9 特集「思い出の詰まった校舎 ありがとう」 12 同窓生の訃れ
13 期別同窓会情報 18 母校は今 20 お知らせ



ご挨拶

同窓会長 佐原 吉博

同窓の皆様には御健勝にて、お過ごしのことと存じます。

同窓会長を拝命して2年目となり、支部同窓会の総会に参加させて頂く機会が増え、同窓の皆様方のご活躍振りを目の当たりにして、七高同窓生はさすがと、大変頼もしく思っております。これからも、後輩のために頑張つて頂きますよう祈念申し上げます。

さて、昨年発行の第27号で同窓会の運営協力金の拠出をお願い致しましたところ、思いもかけず、多数の皆様方から多額の協力金を拠出頂き、誠に有難うございました。

お陰様で念願でありました、同窓会だよりの毎年発行が可能となり、しかも、頁数を増やして、内容も充実してお届け出来るようになりました。皆様方からの投稿もどしどしお寄せ頂きたいと存じます。

また、母校の部活動への支援も大幅に増額することが出来、後輩の活躍に期待しているところであります。

さらに、同窓会支部への支援も増額出来ましたので、支部活動の活性化に繋げて頂ければ幸いです。

次に、同窓会のさらなる発展を目指して、本年より同窓会事務局を開設することになりました。

七高同窓会だよりの毎年発行と増頁による、校内幹事の先生方の負担軽減を図るためと、個人情報保護の観点から、同窓会名簿の調査、整備を同窓会で行うことを大きな任務とし、一般庶務や七尾高校のホームページの整備も行うことになりました。

また、本年も皆様方に「運営協力金の拠出」をお願いしていますが、それと合わせて「名刺交換帳」を作成することになりました。互いの情報交換にご利用頂ければ幸いです。

最後に、母校の更なる発展と同窓の皆様方のご多幸をお祈り申し上げます、ご挨拶といたします。



伝統の継承と学校力の向上をめざして

校長 谷口 祐弘

同窓会員の皆様方には、日頃から本校の教育活動に対する深いご理解とご支援を頂き、また新校舎建設から学習環境の整備に至るまで多大なご尽力を賜りまして、誠に有り難うございます。衷心より感謝申し上げます。

真新しい校舎を誇りに生徒達は毎日嬉々として学校生活に勤しみ、志の実現に向けて勉学や部活動に励んでいます。先輩方の意志を継いで負けず劣らず、運動部員・文化部員共に短時間集中して練習に汗を流し、北信越大会や全国大会で活躍しています。特に文化面においては、読書感想文の全国入賞や国際化学オリンピックの日本代表候補の輩出など、目覚ましい躍進が見られました。

昨年から、教育課程編成やいじめ問題等の教育における負の側面が急浮上しています。また、新教育基本法の制定で、伝統の尊重と郷土を愛する心の涵養が求められています。本校における喫緊の課題は、受験対策と社会人として必要な資質・能力の育成とのバランスを図り、このダブルスタンダードをいかにして統合するかにある、と考えます。

本校では現在、生徒の自律的な学習態度の育成に力点を置き、基礎・基本の徹底と個別指導による個性の伸長を共に図る指導を実践しています。「いしかわキャリア教育推進事業」導入で社会人基礎力の育成を加味した教育課程の編成や、能登の自然を教材として創造性を育成する文科省SSH事業の継続等が本校の特色ある評価指標となります。勿論、生徒の学力や学習力の向上が最重要であり、内外の学校評価や人事考課制度による教師の指導力向上に焦点をあて、その集大成として学校総体の力量向上を図る取り組みをしているところであります。

職員は「生徒の目線に立つて」をモットーとして組織的な支援に日夜労を惜しまぬ責務と矜持をもって臨んでおり、本校の伝統とする「文武兼備」「自律と創造」の不易の精神を具現化していく決意でいます。今後とも、会員の皆様の更なるご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

支部同窓会活動状況

関東支部



関東同窓会
会 長
石橋徳之助
(高3)

緑濃い都心で盛大に

第41回関東同窓会は6月17日(土)東京會館で開催されました。改装成った同館9階ロースルームには関東一円から今年も120名の会員が集いました。

石橋徳之助会長(高3)は挨拶の中で、荒牧久志名誉会長(中36)の近影近況を紹介し、同支部の伝統ある歴史を振り返りました。また旧恩師として野崎英雄先生、松浦正武先生(高10)、三浦光雄前学校長(高16)、茶木孝至先生(高16)の4先生方が招かれ



▲校歌を朗唱する往年の七中、七辻、七高生

紹介されました。本部同窓会佐原吉博会長(高7)、谷口祐弘学校長(高18)は挨拶で、「運営協力金」への謝辞や新築成った母校校舎の近況等を述べられました。

各支部からは来賓として金沢同窓会春木外喜男副会長(高5)、関西同窓会辻口信良会長(高18)、中京同窓会室木勝彌会長(高9)が出席、本部からの大橋覚副会長(高7)、三井優美子副会長(高16)、山口嘉一教頭(高22)らとともに壇上で紹介がなされました。

開宴では今年も来賓各氏は別テーブルに席が配され、和やかな雰囲気の中、広い会場には旧交を祝う熱気が行き交いました。恒例古希祝賀では、高7期生に今春卒の58期生他若手会員がプレゼントとなり、各氏にワインが贈られました。同じく恒例のお楽しみ抽選会では、多数のスポンサーから豪華景品が寄贈され、幸運な会員は能登の銘酒

恒例は恒例
司会は恒例
山下さん、
松本さんの
コンビ



▲おこそこかつ和やかな雰囲気の間

や蒲鉾他素晴らしい景品を手にしました。カラオケコーナーは各世代が壇上に立ち、万感の一曲を歌い上げました。かくして宴はたけなわの中、エール交換へと進み、世代別に会員が登壇しながら、女学校校歌・平常歌・七高校歌をそれぞれ熱唱し、盛況裡におひらきとなりました。

回を重ねるに連れ発展めざましい関東同窓会は、平成19年は6月16日(土)午後より東京會館で開催されます。多数の参加をお待ちします。



▲新卒学生諸君も
多数参加
偉大な先輩達と
出会えます

七尾高校関東同窓会

会 長 石橋徳之助(高3)

〒125-0061 東京都葛飾区亀有3-11-5 801

顧問 谷口 守正(高2)

名誉会長 三浦 孝明(高3)

副会長 荒牧 久志(中36)

中村 一夫(中46)

三宅 伸秀(高7)

幹事長 木下 嘉平(高15)

副幹事長 小塚 正人(高16)

西尾 肇(高18)

榎 和久(高18)

松本美紀子(高21)

半田 哲也(高16)

田中 敏雄(高8)

受川 正(高11)

津田 兵衛(高3)

北村 清年(高21)

幹事 以下16名

事務局 東京都会区恵比寿南1-10-2

〒150-0022 32 山京ビル3階

(休)あおばランド

TEL 03-5773-5911

FAX 03-5773-5912

Email: narakou-kanto@nifty.com

平成19年度 関東同窓会

日 時 6月16日(土) 13時

場 所 東京會館本館9階

ロースルーム迎賓の間

東京都千代田区丸の内3-2-1

03-32215-2111

※JR東京駅 丸の内南口より徒歩10分

※JR京葉線 東京駅より徒歩5分

※営団地下鉄有楽町線 有楽町駅 国際フォーラム側口より 徒歩5分

関西支部



関西同窓会
会 長
辻口 信良
(高18)

春一番は関西から

ご無沙汰しています。関西同窓会です。毎年、各地の同窓会の先駆けとして、4月の第3土曜日に関西2府4県（大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山）の同窓約1、300名に声をかけて開催しています。来賓も入れて、100名前後の参加があります。関西在住の私たちにとつて、ふるさと七尾・能登は、サンダーボードなどで近くなつたとはいえ、そう頻繁に帰れるわけではありません。そんなこともあり、お住まいの近所で開かれる年1回の関西同窓会を楽しみにしている同窓生もおられます。そしてわず



▲テーブルは期別毎 機がしい顔に
開会前から盛り上がる

そしてわず



▲故郷、母校を離れて歌う校歌に力がこもる

半日だけのことですが、懐かしい青春時代に帰っていただき、その頃の思い出やその後のこと、また、ふるさとの薫りを、肌で、言葉で感じてもらい、「必ず来年もまた元気でおいししましょう」「息災におつくだいね」と言つて、お別れします。

関西同窓会は、平成19年は25回で、今年は、開始時刻を12時30分とし、丁度昼食の時間に合わせました。そして、この同窓会準備のため、勘山幹事長を中心に少なくとも年4回の幹事会が開催されています。みなさんそれぞれ忙しいのですが、名簿整理に始まり、「能登はいらんかいね」の能登物産即売会や、ちよつとしたおみやげ物の準備など、同窓会に集まってくださる方に少しでも楽しんでいただこうと献身的に作業してい

ます。もつとも幹事会自体、忙しい中にも、ミニ同窓会の雰囲気もあり、和気あいあいとした中で笑い声が絶えません。

母校の後輩達は、スーパーサイエンス校に選ばれたり、伝統である文武両道を目指すなどして、大いに頑張っているようですが、関西方面の大学にも是非入学してください。七尾高校卒業の年とその翌年は、関西同窓会に無料で招待しています。初めての慣れない土地での下宿生活のアドバイスや、先輩との顔つなぎも出来ますので、連れだつて参加してください。来年以降も、4月第3土曜日は変わらないと思いますので、記憶の中に入れておいていただき、たまたまその日に所用で関西に来られ



余興では南京玉簾が
お目見え

▼世代を超えて
とけ合う歌声



た方なども、飛び入りでご参加下さい。

母校七尾高校のますますの発展と、同窓生の皆様のご健勝をお祈りします。

七尾高校関西同窓会

会 長 辻口 信良（高18）

事務局 〒530 047 大阪市北区天満4-8-12 北ビル本館4階

太陽法律事務所

☎06-6361-8888

FAX 06-6361-8889

E-mail: nob@taiyo-law.jp

幹事長 勘山 悟（高9）

〒563 0025 大阪府池田市城南3-15-C402

☎07-2175-4123 06

幹事代行 梅本彌一郎（高7）

〒583 0882 大阪府羽曳野市高鷲6-4-22

☎07-2915-3139 69

平成19年度 関西同窓会

日 時 4月21日（土）

12時30分～

場 所 大成閣

大阪市中央区東心斎橋1-18-12
☎06-6271-5238

※地下鉄心斎橋⑤、⑥番出口。大丸とそここの間を東へ約100M左側。

★会 費 1万円

但し、49期以降の卒業生は5千円
58期、59期の方々はご招待（無料）

中 京 支 部



中京同窓会
会 長
室木 勝彌
(高9)

18 年度中京同窓会

活動状況

昨年の10月29日(日)名古屋市中心部のメルパルク名古屋で参加者53名で総会懇親会が開催された。

本部から佐原吉博同窓会長・由紀子御夫妻、谷口祐弘学校長、山口嘉一・山本登紀男両教頭、事務局釜谷美智子教諭、ま

た関東、関西、

金沢各支部から

中村一夫、岩尾

初子、山田猛各

副会長にご出席

をいただいた。

さらに今度中部

石川県人会に就

任された小山齋

氏(高5)にも

来賓として出

席、ご挨拶をい

ただいた。

武元猛副会長



▲みなさんで整然と記念撮影

(高10)の開会の言葉の後、物故者に黙祷を捧げ、室木勝彌会長(高9)の挨拶、続いて来賓の佐原本部会長から「同窓会運営協力金も集まり七高同窓会だよりも年に一回発行できるように感謝している」とのお話をいただき、谷口学

校長から新校舎やスー

パーサイエンスハイス

クルルの活動など学校

の現況について報告い

ただいた。なお今回の

総会で新たに「中京同

窓会会則」を提案し承

認された。

懇親会に入り当会の

最長老であられる秋田

正夫氏(中学29)の発

声で乾杯、初参加者の

紹介、お互いの近況、

同窓生の消息、故郷の



▲同期で歌う昭和歌謡

思い出等楽しい歓談の合間に福森英一郎氏(中40)による、女性コーラス付詩吟、カラオケ、郷土の名産品等の抽選会と続いた後、校歌、平常歌斉唱、嶺昌雄幹事による万歳三唱、倉田美智子副会長(高13)の開会のことばで名残を惜しみ来年の再会を約束しながら散会した。



▲ア・カベラで歌いきります中学校校歌

関東からも九州からも
馳せ参じての熱唱



女性デュオの
ハーモニーに
喝采



▲ハンザ〜イで来年の再会も約します

七尾高校中京同窓会

会 長 室木 勝彌(高9)

〒467-0048 名古屋瑞穂区弥富ヶ岡町3-23

ヴィ・クオレ 406

052-833-6226

E-mail: knuok@chubuplat.co.jp

副会長兼幹事長

武元 猛(高10)

副会長 倉田美智子(高13)

事務局 室木 勝彌(高9)

〒467-0048 名古屋瑞穂区弥富ヶ岡町3-23

ヴィ・クオレ 406

平成19年度 中京同窓会

日 時 11月10日(土) 12時〜

場 所 メルパルク名古屋

名古屋東区葵3-16-16

052-937-1353

是非皆さん大勢のご出席をお待ちいた
しております。

金 沢 支 部



金沢地区合同同窓会
会 長
杉本 勇寿
(高3)

錦秋の夕べ県都に集う

日ごとに春の訪れを感じるようになりましたが、同窓生の皆様方にはますますご清栄のことと存じます。

私共金沢地区合同同窓会は、金沢市と近郊在住の約2,500名の方々に参加を呼びかけ毎年秋に開催しております。事務局は石川県庁、金沢市役所、石川県警の輪番で、昨年は金沢市役所のお世話で10月20日



▲先輩諸氏を若手が先導？

(金) 金沢ニューグランドホテルにおいて、総勢110名のご参加をいただき、盛大に開催いたしました。

来賓には、本部同窓会より佐原吉博会長をはじめ役員の方々、学校からは谷口祐弘校長をはじめとする先生方、石川県、金沢市の各議会議員の方々、遠路はるばる駆けつけていただきました。三宅伸秀、関東同窓会副会長をはじめ各支部同窓会役員の皆様などをお迎えし心温まるご祝辞を賜りました。

会長挨拶に始まり、来賓の方々の挨拶をいただき、山田省悟県議発声による乾杯で開宴した後、待望久しい新校舎が完成したのを機にビデオでその一部を紹介させていただきました。

斬新な外観と広い室内空間を併せ持つ素晴らしい学舎で生き生きと勉学に励む生徒諸君の姿が見られ、先輩諸氏が培った七尾高校の伝統は継承され、輝かしい未来が創造されるものと確信されたようです。

思い出話や近況に花が咲き瞬く間



▲歌うほどにステージは盛り上がります

楽しみにしつつ、報告とさせていただきます。

に時間が過ぎ、平常歌、七尾高等女学校校歌、七尾高校校歌を全員で斉唱し、なごり惜しむ中、盛会のうちに終了となりました。東の間の一夜でしたが、大いに旧交を温める機会となりましたことをご報告とさせていただきます。

司会は金沢市役所
山口さん (高48)

▼新校舎をDVDで紹介



七尾高校金沢地区合同同窓会

会 長 杉本 勇寿 (高3)

〒920 0942 金沢市小立野2-14-18

副会長 春木外喜男 (高5)

谷口 元章 (高10)

北野 信之 (高15)

県庁事務局 津梅 幸雄 (高19)

商工労働部 〒076-225-1501

山本 樹 (高27)

経営支援課 〒076-225-1521

〒920 8580 金沢市鞍月1-1

市役所事務局 徳野 守 (高20)

金沢市金石市民センター 〒076-267-0001

中山 潔 (高30)

農林総務課 〒076-220-2214

県警事務局 森田 逞雄 (高17)

県警本部 〒076-225-0110 (代)

越村 和彦 (高35)

厚生課 〒076-225-0110 (代)

事務局は輪番です。

(H18市役所、H19県警、H20県庁)

(平成19年2月末現在)

平成19年度 金沢地区合同同窓会

平成19年度金沢同窓会は秋の開催となります。会員の皆様にはDMにてご連絡申し上げます。では是非ご参加をお願いします。

本部同窓会活動状況

三百二十余名和倉に集う

本部同窓会は9月23日(土)和倉温泉「あえの風」にて開催され、今年も325名が県内外各地から集いました。総会では平成17年度事業報告、同決算が承認され、続いて18年度事業案、予算案も拍手で可決。平成18年4月からの「運営協力金」呼びかけに対しては多数多額の浄財が寄せられ、同窓会活動への明るい見通しが報告されました。

正午からいよいよ懇親会。オープ

ニングでは母校吹奏楽局が息の合った素晴らしい演奏を披露。今年は鰻目剛氏(高30)が司会を担当しました。稲葉健副会長(中48)の開会宣言。続いて佐原吉博会長(高7)が挨拶に立ち、就任2年目への抱負を語りました。谷口祐弘学校長(高18)



▲ 最多参加の高7生は校歌を壇上で歌う栄誉を得ました

は文武に躍進する母校生徒の現況を伝えました。

このあと年代重雄氏(中35)、高沢至氏(高5)、大林重治氏(高13)の各叙勲者を壇上に迎え栄誉を称えました。

来賓として従二喜一先生、佐々木敬彦先生、佐々木弘明先生、高沢幹夫先生、山本武志先生、中島輝夫先生、三浦光雄先生歴代学校長がご列席。亀淵了映氏(中30)、飯田桂一氏(中40)、堀昭七郎氏(高3)の顧問並びに各支部代表の皆さまが紹介されました。関



総会風景 ▶

東同窓会石橋徳之助会長(高3)、関西同窓会辻口信良会長(高18)、中京同窓会室木勝彌会長(高9)、金沢合同同窓会春木外喜男副会長(高5)の各氏とも望郷の想いを込めて支部の活況ぶりを伝えました。瓦力衆議院議員(高8)、山田省悟



▲ 叙勲の皆さんを称えて
(手前から高沢氏、年代氏、大林氏)



▲ 岸先生が率いられて和やかな校歌部会

県会議員(高18)からの祝電が披露されたあと、第14代学校長佐々木弘明先生の発声でいよいよ乾杯。久々の恩師や旧友との再会に各テーブルとも盛り上がり、広い会場内はあちこち談笑で華やきました。恒例の校歌メドレーでは平常歌1、2、5題を力強く斉唱。続いて女学校部会による女学校校歌、最後は全員による校歌で高らかに締めくくりました。続いて堀昭七郎前会長発声のもと万歳三唱。宮西香津子副会長(女33)が再会を約して閉会宣言、おひらきとなりました。



▲ “千又に道は分かるとも
その真心はただ一つ…”。

(月・祝)和倉温泉「あえの風」で開催されます。次回も多数の皆さまのご参加をお待ち致します。
「集い来たれ。歌わんかな 平常歌！」。



▲ 広い会場を埋める
期別テーブルの
あちこちに談笑の
花が咲きます



平成19年度

本部同窓会のご案内

日時 9月24日(月・祝)
場所 和倉温泉「あえの風」

0767-621333

総会 11時
懇親会 12時

笑う窓

清水 義一 (高9)
(雅号・聖鵬)

師走も暮れのある日。久しぶりにと孫、家内を連れて親戚回り。帰家すると二人の男性に美女一人。次男と自宅前で立ち話の様子。道案内をされたいらしい七高事務長さんには車中からのご挨拶。また約束を忘れた私、を一瞬、責め始めた私。そこへニコニコと佐原会長さんからご挨拶を頂き、緊張した面持ちの谷口校長先生。かつて知る釜谷女史の笑顔に安らぎを覚えながら、車を次男に託し、慌てる心を押さえつつドアを開けて先に立ちました。失礼をも顧みず座して本題に。……こうして『七高同窓会だより』のタイトル書き決定と相成り、また忘れる私、が恐くて、「明日持つて上がります」とお約束をさせていただきました。

半紙に思いのまま書きながら同級生に誘われて参加するようになった総会で、いつも温かい風が頬を撫でるように、笑顔で集まってくる朗らかな皆さんの顔を思い出していました。辞典を繰り、古典の書を紐解きして集字をし、想を練りながら次々と筆は進む。紙数も増え、やがて睡魔急襲。これがお決まりのパターンであります。

朝一番、紙を広げた中に、ひとつだけ笑って見える「窓」がありました。「これだっ!」と決めて『笑う同窓会』にしました。なぜか迷作が生まれた時の最終選考者は家内(高9)の勤めとしていところであり、私も是認しています。…「笑う窓」入りタイトルの誕生。…提出。ご審議、決定をお図り頂く迄のプロセスをご報告申し上げます。

皆さん同窓会にお出かけ頂きお笑い下さい。



タイトルご応募ありがとうございました

会員各位の絆を強め紙面の充実を願って前号にてタイトルを募集しましたところ昨年4月から5月にかけて11件の応募がありました。故郷や同窓会に寄せる想いを由来として、校歌に詠われる「星」にちなむ名称が多くありました。応募作品について同窓会役員及び編集担当で協議の結果、応募作品のすべてを合わせる形で、今号から「七高同窓会だより」と冠することといたしました。「七」は母校の「七」でありまた七ツ星の「七」でもあり象徴的な意味合いを表しています。背景の色は、スクールカラーの茄子紺を基により明るい色調としました。左記に御礼を込めて応募作品の紹介をさせていただきます(報告とします。(受付順))

「尾湾会」(的場吉彦様・高20)、「七尾高校同窓会誌」(土田敏典様・高32理)、「天空」(上谷正人様・高35)、「北斗星」(北村良様・中37)、「北斗」(北斗星)(長峰和人様・中46)、「高と星」(安井憲彌様・高14)、「三星鐘」(米岡完二様・高9)、「七尾星梅高」(七ツ星梅高だより)(副田満里子様・高3)、「ハイスクール☆な☆な☆お」(道坂政弘様・高51)

作品募集

七高同窓美術会展に

出品しよう!!

木本 峰生(高6)

第12回七高同窓美術会展は昨年9月22日(金)～24日(日)の3日間、七尾駅前のパトリア4F、フォーラム七尾で行われ、約1,000人の参観者ににぎわいました。

この美術展は本校同窓会の美術愛好者により、日本画、水墨画、洋画、工芸、書、写真の6部門からなり、在校生の作品も多数あります。

特に同窓会員にお伝えしたいのですが、専門的で高度な技術を追及するのではなく、趣味に美術を愛好する同志に、広く出品を呼びかけています。

今年は本部同窓会に併せて、9月21日(金)～24日(祝)の4日間を予定しています。

問合せ 事務局 木本 峰生(高6)

☎(0767)5214011



写真
で
見る

其の1

故郷の新名所シリーズ

変貌を遂げた七尾市



▲ 御祓川河畔



▲ 再開発成ったJR七尾駅前



▲ 画面奥 市庁舎の前から市街を貫く大通り

グラウンドから
駅前方面を望む

▼ 七尾高等学校新校舎

▲ 昭和42年まで利用された
七尾高等学校校舎（昭和30年代）

▲ 七尾高等学校の運動会（昭和37年頃）

本書は、市町村合併が進展し、新たな町づくりが模索されている現在の姿も過去の写真とともに掲載しており、表題に「保存版」とあるように堅牢な上製本ですので、未永くお手許にお備えいただけるでしょう。

収録された写真は、9割が類書に未発表のものです。また、かすかに記憶に残り、懐かしく思い起こしていただけの昭和20～30年代を中心に、身近な風景や暮らしを映した貴重な写真を収録しており、七尾高校はもちろん、駅前商店街、一本杉通り、などの風景やデカ山、七尾港祭りなどの懐かしい写真がたくさん掲載されています。さらに、一枚一枚の写真には地元の先生方によるていねいな解説が付き、風景・町並みと商店街・交通・暮らし・建物・学び舎などの分類別に編集されていますので、それぞれの変化が分かりやすくなります。

戦後の高度経済成長は日本の暮らしや風景を大きく変えましたが、私たちの郷土、能登も例外ではありません。『保存版 能登半島今昔写真帖』（刊行記念特価9,975円）は能登半島各地の風景について、同じ方向から撮影した今と昔の写真を比べることで、その変化を実感していただけるように編集したもので、3月初旬に郷土出版社から刊行され、地元の書店で販売しています。



郷土の変遷がひと目でわかる
**能登半島今昔写真帖が
刊行されました**

菊沢 平光（高23）

運動場



▲講堂で見つけた
七高グッズ
『七高ペナント』



▲講堂の一角に
かかる立派な
大時計

高3期生の
卒業記念

講堂

ブラスバンド
部のメロディーが
響き渡る♪



懐かしい顔発見!
谷口校長先生



▲ピカピカの新校舎

第二 体育館

体操、バド、
空手、柔道、
剣道など



▲第二体育館2階の戸
重くて開け閉めが
大変



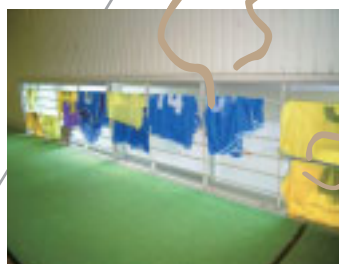
▲妙に懐かしく感じた
掃除道具入れ

第一体育館

バスケット部、バレー部、
卓球部がひしめき合う
体育研究室がポイント!



第一体育館は、昭和60年
インターハイ会場にも
なりました。



▲バスケット部のゼッケン
汗臭さは代々引き継がれ
ている



▲第二体育館1階、武道場
and筋トレルーム
雨の日は人がいっぱい

トレーニング器具一式は
昭和60年に同窓会より寄贈

⑥



彫刻『どこにもいけない』
(渡部倫子さん(高51)の寄贈作品)

⑦



三省の像
(高24期生の卒業記念)

⑧



平常歌碑
(創立90周年記念)

現在は新校舎正面に
あります

思い出の詰まった校舎 ありがとう！

七尾高校の旧校舎は、新校舎の完成に伴い、平成19年秋に取り壊されます。昭和44年に完成してから、38年間で約10,000人が巣立った校舎であります。その前に高校時代の思い出を探しに訪ねてみませんか？



▲ 1 階の廊下



▲ 勉強した人もしてない人も懐かしい教室

正面玄関の上にある時計
遅刻に注意！



▲ 毎朝くぐったこの門
創立80周年記念



▲ 懐かしの自転車置き場
いつも自転車(チャリ)であふれていた

奥の建物は旧図書館
創立70周年記念
現在の名称は「同窓会館」



③



天空像
(創立90周年記念)

④



四行之碑
(創立90周年記念)

ヒント：天空像の傍に…

⑤



鐘楼『三星の鐘』
(創立100周年記念)

★七高探検隊発足★

七尾在住の3人組で七高探検隊を発足し、旧校舎を探検しました。

探検隊 プロフィール

竹 : 竹下 貴紀 (45期生) もうすぐ二児のパパ。元野球部
千 : 姥浦 千重 (46期生) まだゼロ児。元バスケット部
やっち : 谷内 玲香 (51期生) 一児のママ。元バレー部



(左から竹・やっち・千です。)

千 : 久々やね、七高来るの。

やっち : 本当、懐かしい！

竹 : 高校の時はなんも気にしとらんかったけど、いろいろあるげんね。

やっち : 第一体育館行ったらバレー部が練習しとって、なんか高校時代思い出してしまった。

千 : 私も。おもわず学生時代を思い出してシュート練習してしまった。

気持ちは学生時代でも、体力は確実に年月を重ねとったけど。

竹 : 野球部にも室内練習場が出来て、甲子園に一步近づいたかな。俺がエースの時ももうちょっとで甲子園やってんけど。あの頃に21世紀枠があればなあ。

やっち : 私、島からバス通学やったから帰りにパトリアとかよく寄ったなあ。そういう人達をパトリア部って呼んどった。

竹・千 : えーっ！！うちらはユニー世代やった。ユニークラブって言われとったね。

竹 : そういや、昼ご飯とか買いにいく時って外出許可証(?) ってもらっていったよね。あれって木製やったよね。

やっち : そうそう、木の札みたいな。

千 : 『三星の鐘』のあった場所って、うちらが高校生の時(平成3年)の台風19号で、ケヤキの大木が倒れたよね。

竹 : そうそう、根こそぎ倒れて木の前で記念撮影したん覚えとる。

高校時代の グルメスポット♪

高校時代によく立ち寄った
懐かしの味。今でも健在です。
七高探索する時には訪ねて
みるのもいいかも
しれませんね。



福島商店 (通称: まし)
男子運動部のたまり場でした



じゃーま
久々に唐揚げ食べたい！



フレンド
タマゴパン♪

校舎のどこに あったかな!?

歴史のある七尾高校には、
校舎のあちこちに同窓生から
贈られた像や記念碑等を
見つけることができます。
七尾高校・旧校舎の場所の記憶を
辿って、下の8つの位置を右の
校舎配置図の **a** ~ **h** の中から
探し出して下さい。



七尾中学校初代校長
奥田頼太郎先生胸像
(昭和26年奥田先生門下一同により建立)



校歌の碑
(高30期生の卒業記念)

現在は新校舎
正面にあります

祝 叙 勲

叙勲を心よりお祝い申し上げます
とともに今後益々のご活躍をご祈念
申し上げます。

平成十七年度

黄綬褒章

川田 精義氏(高6) 七尾市

平成十八年度

瑞宝双光章

天井 明氏(高5) 七尾市

山田 猛氏(高5) 金沢市

松木 一郎氏(高6) 七尾市

(県内において把握できた範囲で掲載しています)

ご 就 任

(平成18年度以降)

石橋 宏文氏(高16)

七尾市歯科医師会支部会長(高18・4)

三浦 光雄氏(高16)

七尾市教育委員会教育長(高19・4)

今井 覚氏(高17)

金沢弁護士会会長(高19・4)

西 徹夫氏(高18)

石川県人事委員会委員長(高18・8)

中島 登氏(高32)

七尾鹿島薬剤師会会長(高18・4)

(県内において把握できた範囲で掲載しています)

ご 寄 贈

高7期同窓生ご一同様より古稀記念
として「正面玄関校章並びに校名版」
をご寄贈いただきました。

平成18年度

七尾高等学校同窓会役員

■顧問

亀淵 了映(中35)

神野 正一(中36)

圓山 義一(中38)

飯田 桂一(中40)

堀 昭七郎(高3)

■会長

佐原 吉博(高7)

■名誉会長

谷口 祐弘(高18)

■副会長

稲葉 健(中48)

宮西香津子(女33)

大橋 覚(高7)

木本 陽子(高9)

三井優美子(高16)

津田 文雄(高20)

■監事

湊 静子(女33)

森山咲智子(高8)

大林 重治(高13)

所司 久雄(高20)

■理事

神野 正一(中36)

虎瀬 榮松(中37)

上坂 嘉友(中38)

林 秀一(中39)

高橋 武雄(中41)

古川 正弘(中42)

金谷 欣二(中43)

守友 宗次(中44)

堀 喬(中45)

後藤 由雄(中47)

稲葉 健(中48)

森本 静(女15)

水谷 歌(女17)

佐々波清子(女19)

伊藤 和嘉(女20)

橋本 君子(女22)

田中千代子(女24)

別所美津子(女25)

平林 静子(女26)

瓦 美與子(女27)

湯口 茂子(女28)

佐田味禮子(女29)

米谷 幸子(女30)

赤岩 玉枝(女31)

清水 敦子(女32)

半田 良枝(女33)

木下 良枝(女34)

村守 絹子(高1)

木下 成一(高2)

堀内 茁子(高2)

前川 貞夫(高3)

桜井 洋子(高3)

寺岡 順治(高4)

松井 節子(高4)

春成 泰(高5)

新城 久代(高5)

木本 峰生(高6)

半座 幹子(高6)

横山 文男(高8)

宮本 博子(高8)

高島 隆夫(高9)

末吉 和子(高9)

守友 章(高10)

宮田也寸子(高10)

北野 慶嗣(高11)

元橋 範子(高11)

河原 利允(高12)

島山 敦子(高12)

中浜 耕平(高13)

小林智恵子(高13)

桜井 彰信(高14)

西村由紀子(高14)

岡川純一郎(高15)

多田万喜子(高15)

小林 信行(高16)

西尾恵美子(高16)

高橋 正俊(高17)

坪井 薫(高17)

橋屋 愈(高18)

達 澄江(高18)

新田 博(高19)

柿島 順子(高19)

狩山 賢一(高20)

椎間美津子(高20)

山田 謙悟(高21)

伊藤 厚子(高21)

小間 敏秀(高22)

大成 伸子(高22)

田治 吉彦(高23)

魚岸志乃富(高23)

松村 重伸(高25)

熊谷 京子(高25)

山口 成俊(高26)

森 佳津代(高26)

木村 晋(高27)

佐原加津美(高27)

岡部 孝博(高28)

関軒 利江(高28)

仲島 映(高29)

清水 桂(高29)

室塚 宏一(高30)

法岡 敬人(高31)

北原千香子(高31)

長田 浩信(高32)

竹 外喜子(高32)

木下 義隆(高33)

道下 雅美(高33)

伊藤 正喜(高34)

池田 弘子(高34)

上谷 正人(高35)

山崎 香織(高35)

福山 秀幸(高36)

浦上 智美(高36)

窪 丈雄(高37)

受川 直美(高37)

青木 信幸(高38)

沢井 有里(高38)

松崎 健(高39)

土倉 雅世(高39)

政浦 芳典(高40)

番匠 佳子(高40)

朽木 正暁(中28)

桶川 弘(中31)

甲 政夫(中33)

永江 宣之(中34)

堀 嘉門(中36)

鶴家 良平(中37)

宮崎 正(中38)

田中 一雄(中39)

坂井 博(中40)

永源 功(中41)

宮崎勝太郎(中42)

年代 重雄(中43)

宮川 隆之(中44)

鵜浦 孝(中45)

坂本 順二(中46)

芝田 和子(女19)

丹後 和子(女21)

岸 あや子(女22)

藤本 季子(女23)

堀 美恵子(女24)

真館 静代(女25)

今井 静子(女26)

勝木みさを(女27)

小山満智子(女28)

久田とみ子(女29)

石垣美知子(女30)

松浦 禮(女31)

小川 節子(女32)

宮西香津子(女33)

奥 陽子(女34)

戸潤 秋郎(高1)

野村幸治郎(高2)

久保 賢明(高3)

姥浦 昭二(高11)

川口 洋之(高12)

久保 義隆(高13)

中村 康夫(高14)

橋本 秀和(高15)

森野栄一郎(高16)

原 新一(高17)

山本 益夫(高18)

向田 博一(高19)

津田 文雄(高20)

平岡 志朗(高21)

柿島 和嘉(高22)

田中 道夫(高23)

清水 直也(高24)

多田 朗(高25)

坂井 正弘(高26)

西村 正悦(高27)

新城 純一(高28)

久保 明義(高29)

鰻目 剛(高30)

古沢 清実(高31)

大谷しず香(高32)

松井 敏史(高33)

杉本 欣一(高35)

種谷 多聞(高36)

在澤 潤(高37)

古川 宏幸(高38)

竹中八千代(高39)

松田 直樹(高40)

学校事務局

釜谷美智子(高24)

干場 茂樹(高33)

坂口 初男(高19)

向 宏(高24)

中澤 賢(高34)

古川 和子(高27)

金岡 利宏(高34)

(平成19年3月現在)

期別同窓会開催のご報告

「中44期」

平成17年7月26日

和倉温泉「海望」

県内外各地から 20名

傘寿を迎えて

守友 宗次(中44)

2年毎に実施している七中44回生同窓会は、一昨年の7月26日和倉温泉『ホテル海望』で行われ、20名の出席でした。

26名の方からは欠席の回答があり、それぞれ近況の報告がありました。

お互い身体の衰えを感じる同期生ですが、次回には是非出席したいという明るい報告もありました。

本年は予定通り、和倉温泉開催を予定し、計画を進めております。

同窓生の皆

さん、健康に留意され、体調を整えて是非御出席されるようお待ちしております。

ともども、傘寿をお祝いしましょう。



「女24期」

平成17年10月

志賀町いこいの村能登半島

10名

高女24回生からの報告

田中千代子(女24)

人生の華だった七尾高女卒業は昭和13年、それから70年近い月日が経とうとしています。

平成17年10月最後の同窓会を、志賀町いこいの村能登半島で持ちました。現在約40名の中で元気に参加したのは10名。集まれば昔にかえって笑いと涙の楽しい思い出の一夜となり語りあかしました。

先日孫と一緒に完成したすばらしい校舎の外廻りを一巡しました。かつては能登の大学と言われた威容を今も仰ぎみる想いで感無量でした。

七尾高校へ七尾高女が合併させて頂き、私達の生きた証として名簿の上で永久に残されていくことに、限りない喜び抱きと誇りに思っております。

残された日々すべてに感謝の毎日です。



「女29期」

平成18年5月17日(水)

和倉温泉「あえの風」

県内外各地から 20名

ラスト同窓会

佐田味禮子(女29)

風薫る5月
平成18年5月17日
私達29回生の同窓会を和倉の「あえの風」で行いました。

「光陰矢の如し」。月並みではございますが私達ももう傘寿を迎える年令になりました。



還暦を迎えて毎年行っていた同窓会、地元のと倉、東京、鎌倉、箱根、琵琶湖巡り、京都、大阪、奈良、花博、宇奈月、加賀、ねぶた温泉等、本当に楽しい思い出が多くございます。ここ2年位行わず、今回が最後ではとお祝いを兼ねて皆さんに案内したところ20名の方が出席してくれました。良い天候に恵まれ今世界的に有名な七尾出身の辻口さん、角偉三郎さん美術館も見学し、きれいな穏やかな海、懐かしい海水浴の思い出のと倉、大橋を眺めて皆さん元気で出席出来たことを感謝。楽しい楽しいお食事会。今迄力ラオケ

「女31期」

平成18年10月22日(日)

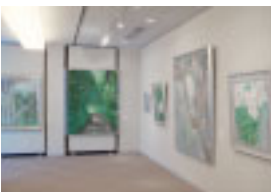
フロートイント和倉

県内外各地から 18名

高女31回生からの報告

赤岩 玉枝(女31)

平成18年8月13日から8月31日まで19日間、山本みのるさんの30年にわたる日本画作品の個展が、のと共栄信用金庫本店2階ギャラリー「かわも」で開かれ、同窓会々員各位はじめ、市民も多数御来場下され、同級



等歌ったことの無かった温和しいクラスだったのに、年月が経ったのでしょいか、皆さん張り切って歌い、和やかな雰囲気一夜を過ごしました。そしてこれで最後にしないで又逢いましうと固い約束でお別れました。

昨年3月にあんなに元気だった大平さん、5月に一緒に歌った坂本さん、今年1月に笹川さんが亡くなられました。私達ももうそんな年になったのだと実感致します。

今後健康に感謝して一日一日を大切に過ごしたいと思ひます。

平成19年2月 記

生として感動、感激でした。

10月22日はフロロイント和倉でクラス会をもちました。今回は、参加が18名と少なかつたのですが、関西からお一人参加の加久本さん(旧姓杉本)が、わが石川県に今季続投の杉本副知事のお姉さんということもあって、一同大喜び。話題も尽きず、楽しい一夜を過ごすことが出来ました。参加の皆さんの希望で毎年クラス会をしてほしいという意見が多く、地元としては、これは大変だと思いう反面嬉しくもあり、友達同士の絆の深さを感じました。その時の記念撮影を添えておきます。



「女 32・33 期」

平成18年6月12日(月)～13日(火)

ダイヤモンド片山津温泉ソサエティ

県内外各地から 54名

四つ葉会

清水 敦子 (女32)

私達同期は今年、喜寿の年を迎えました。

私達同級生

は長年地区別に当番制とし毎年同窓会を催して居りました。その地区、その地区の特徴を生かし構成し演出をマツチさせ、たのしい同窓会を繰り広げられました。昨年の同窓会の時、喜寿になり此からは今迄の同窓会は一時休止しようと言う事になり、今年の予定はありません。



私達同級生は戦後最後の女学校卒業生と思います。4年生で卒業する人と一年延ばし5年生になった人と双手に別れました。でも同窓会は、32回卒業生と33回卒業生と合流し四つ葉会と名付けられました。そしてずっと毎年同窓会が行われて絆を大事に致しました。

でも、私達は七尾在住の同級生の集いを毎月行つて居ります。これも当番制にして、あれこれ私達なりの行事を行いましたけれど、近頃は食事が多くなりしました。名前は七草会と申します。毎月がたのしみです。私は七草会が十何年続けられたのも、一つの楯になつてくれる人が居たからだと思うの

です。私はそうした方に感謝致して居ります。

喜寿を祝つて

青木 和子 (女33)

同窓会は、大聖寺一帯を襲つた荒れ狂つた大洪水にもあわず全員が無事故で終える事ができ、幹事一同の何よりの喜びでした。喜寿にふさわしく金屏風を立て、お目出度い松の緑の日舞でオーブニング。故人のご冥福を祈り、続いて独唱あり、各ブロック毎に全員が現況をユーモアたつぷり話しあい盛り上がりしました。喜寿祝膳に舌づつみを打ち終えると、懐かしい「おぼろ月夜」を歌つたり、続いて美貌も教養も振り捨てて「ボケマセン小唄」「ボケマス小唄」の大熱演になりました。「今日の日はさようなら」「ふるさと」最後に「校歌」を歌いあげました。「久々に腹の底から声を出してスッキリしたわ」と言う声を耳にし、心を寄せあつて歌うことつて素晴らしいことだと実感い



たしました。翌日は、東京方面、関西方面、能登へと再会を約してお別れしました。毎年休まずに同窓会ができたのは、各ブロックの方々の力強い支えと熱意があつたればこそと思ひました。このあと四つ葉会として、新発足していつまでも元気で、ブロック毎に集まつて友情をあたためましょう。

「高 3 期」

平成18年7月3日(月)～4日(火)
和倉温泉「銀水閣」 20名

中能登町在住同窓会

前川 貞夫 (高3)



昭和20年4月に旧制中学校に入学した、いわゆる上り汽車通学の鹿南三町同級生は、大変仲がよく団結力があつた。卒業してから昭和30年頃より3年毎に各町持回りで同窓会をやつて来た。

平成15年鹿南三町合併前に納めの同窓会をやり、その時

中能登の同窓生は皆元氣

毎年やらんか同窓会

ということ、平成17年合併後初中能登町在住同窓会をやり平成18年は、女性の参加もあり、にぎやかな同窓会であった。平成19年の今年は、来る6月10日「和倉温泉のと楽」で開催することになっている。ちなみに会員は男女あわせて40名です。

高3回生同窓会

久保 賢明 (高3)

高3回生全体の同窓会は、来年オリピックの年、平成20年に開催の予定になっております。

〔高6期〕

平成18年11月26日(日)～27日(月)

京都 嵐山温泉「渡月亭」

県内外各地から 64名

2度目の七高華六同窓会と大会

木本 峰生 (高6)

七高6回卒業(華六)同窓会は平成18年11月26日・27日の両日、京都の嵐山温泉を会場にして「紅葉の嵐山で逢いましょう」のもとで行われた。

石川県勢は貸切バスで35名が参加し、全国各地から総勢64名が集まった。

実はこの京都大会の会場は私達華六同志には大変思い出深いところで、平成4年秋の京都大会以来、二度めで、

ホテルまで前回と同じ「渡月亭」であり、翌日の舟遊びと嵐山散策まで14年前の再現で、思い出話にはなを咲かせた晩秋のひとつきだった。

次回は平成20年9月19日(金)和倉温泉を予定している。



〔高7期〕

平成18年7月5日(水)～6日(木)

和倉温泉「加賀屋」

古稀の記念同窓会に80数名

古稀記念同窓会を終えて

大井 悦夫 (高7)

私ども7回生は昨年7月5日、80数名の参加の下に和倉温泉で「古稀」の

記念同窓会を開催しました。

当日は恩師の4人の先生方(岸あや子、宮田一男、清水正男、西能豊子の諸先生)にご臨席頂き、無事に古稀を迎えることが出来たことを、互いに祝いながら大変盛り上がった会となりました。

同窓会の開催には、一年前から、母校の新築記念寄付、記念誌の発行、ゴルフ、そして、翌日の物故者法要、母校訪問と昼食会までの希望を聞き企画しました。

母校の新築記念寄付は120数名の賛同を得て、学校と相談の上、校章と校名版(黄銅物)を贈る事になりました。

特に校名版の題字は三藤観映氏(第17回卒)の隷書体による素晴らしい書によるもので、未代まで残る記念品であつたと、7回生一同喜びに浸っております。

同窓会の翌日

は恩師の先生方と50数名の参加により、能登教務所での物故者法要の後、母校の新校舎見学では、校舎の設計監理に当たった同級生の三宅伸秀君の案内で、私どもが学んだ



校舎とは雲泥の格式ある素晴らしい設計に感じ入りました。そして、改装なつた懐かしい明治記念講堂での寄付記念品の目録贈呈式も、古稀記念同窓会の華を添える行事であつたと思っております。

また、記念誌「きずな」(百三十二頁)の発行には担当者の献身的な作業により、文集の他に今回も含めた過去の同窓会の写真集や校史と七回生関係行事と共に、世相を折り込んだ年表を添付して、予想以上のものが出来たと自負しています。

私ども七尾高校七回生は「喜寿の会(七七念)」と称しており、先ずは、喜寿までは元気で同窓会に参加しようと申し合わせており、次回の全体同窓会での再会を約して、「古稀」の記念同窓会を有意義な中で終えた事をご報告致します。

〔高8期〕

平成18年9月22日(金)

和倉温泉「あえの風」

県内外各地から 80名

期別同窓会開催の報告

横山 文男 (高8)

七高8回生の同窓会は平成18年9月22日、和倉温泉「あえの風」で開催しました。

待望の校舎完成と卒業50周年が重なり、同窓会は290人中80人が参加。お互いの顔に50年前の青年の日々と心を探し当て、明日への活力を得たひとときでした。

また、窓から蝉や蜻蛉が迷い込んだ旧校舎を懐かしみながらも、素晴らしい新校舎を見学し、母校への思いを新たに出来たことは大きな喜びでした。その時交わした「古希を祝う会は東京で」の再会の言葉を、同級生一人ひとりが大切にしています。



「高10期」

平成18年10月10日(火)～17日(月)

イタリア ミラノ

参加者数 9名

第9回実年修学旅行

松浦 正武(高10)

この旅行は世界の富豪として有名な小西史彦氏(高14)の勧めで、イタリア

昨年の
実年修学旅行



イタリア ミラノ



イタリア
ボンベイ遺跡

フイレンツェのウフィッツィ美術館、ファッションの都ミラノ、ヴェネツィアの gondola、ポンペイの遺跡などを見学しました。

「高11期」

平成18年12月10日(日)

和倉温泉「海望」

県内外各地から 49名

高11回生同窓会

北野 慶嗣(高11)

平成18年12月10日、和倉温泉「海望」にて、11回生の同窓会を開催した。

当初は「オリンピックの年に」という事で、4年に一度の開催だったが、何時の頃から「冬季オリンピックもある」との声が上がり、お互い歳も歳という事で、2年に一度の開催となった。

今回世話役に予定されていた松本莊

一君が7月

に、また松本

仁君も6月に

逝去され、結

局のところ師

走の開催とな

った。それで

も49名の出席

があり、全員

でこれまでの

物故者の方々

のご冥福を祈

り、黙祷を捧

げた。校歌、平

常歌の合唱や、

思い出話など

で夜の更ける

のも忘れ、親

睦を深めた。

翌朝、2年後

に関東地区で

の開催を約

束して散会し

た。

「高13期」

平成17年6月4日(土)・5日(日)

隅田川屋形船での懇親会

皇居・浅草散策

参加者 39名

高13回生 江戸で集う

中浜 耕平(高13)

釣り名人は、釣れる時間に、釣れる場所で、釣れる日に行く・から釣れる。同窓会も同じで参加できる時に必ず、ご参加ください。前回は坂江・松田等の関東勢が幹事となり、平成17年



6月4、5日の両日「東京大会」が40名の参加で盛大に挙行された。七尾からも多数参加した。今年は、いよいよ大西や加賀らがやるはずである。万難を配し参加ください。スナップは東京

大会の皇居前での御のぼりさんである。とにかく楽しかった。名古屋の次は、いよいよ「七尾大会」をさせていたたくぞ。それまで元気なつ：全国の年金太郎の皆様。大林、大橋、堀岡・みんな元気です。



「高18期」

平成19年1月20日(日)

和倉温泉「大観荘」

県内外各地から 47名

団塊の世代の還暦

西 徹夫(高18)

平成19年1月20日、同期の大井徳秀君が営む和倉温泉・大観荘に県内各地

は勿論、関東・中部・関西から総勢47名が参集のうえ、『還暦を祝う会』(?)と銘打って第18期同窓会が開催された。

代表世話人

橋屋愈君の司会のもと、埼玉から来所した遠藤俊明君

の乾杯の音頭で開宴、日頃の疎遠を埋めるべく往時の思い出、その後の足跡等様々な話題に花が咲いた。学舎を巣立って40余年の歳月を経ているが、それも一昔の感であった。各人幾多の道でそれぞれの活躍を遂げていることがありありと窺えた。今春県民の審判を仰ぐ山田省悟君や宮下源一郎君も元氣な姿を見せてくれた。名残尽きない中、埼玉から足労した亀俊男君が、また地元を代表して愚輩が重ねての挨拶をした。

赤いチャンチャンコを身に纏つての記念撮影には卒業後の月日の流れ、人生の年輪が感じさせられる中、還暦を健やかに迎えられたことを互いに祝福、また近々の逢瀬を確認し、更なる飛躍を期して散会した。



「高27期」

平成18年8月13日(日)

料亭「番伊」

県内外各地から 77名

友よ、また会おう

木村 晋(高27)

昨年8月13日(月)「五十にして天命を知る」をテーマに午後五時から「番伊」で同窓会を開催した。6人の懐かしい恩師のご臨席を賜わり、二次会からの参加者を含め総勢77名の参加となった。我ら27回生は1986年より4年毎に絆を深めている。創立百周年の一年前に開催するので「白寿同窓会」、「利家とまつにあやかつて開催する同窓会」、等その時代を生きた証としてのテーマを掲げ集つてきた。今回の案内文も工夫した。新校舎の写真、郷土のニュース、時の話題を織り込み送った。

久しぶりに集い語る中で他郷の地で活躍する友より活力をもらった。たとえ参加できなくても自分の人生を精一杯生きている友を思った。

次回開催2010年。厳しい時代を懸命に生きる友との語らいを楽しみにしている。

期別同窓会開催のご案内

「中44期」

日時 平成19年夏
場所 和倉温泉 旅館未定
詳細は後日連絡

「高2期」

日時 平成19年10月19日(金)
場所 法要 徳生寺
懇親会 和倉温泉「ホテル海望」
参加記念品配付予定 高橋孝宗氏の色紙

「喜寿記念の同窓会」

連絡先 木下 成一(高2)
☎(0767)5211026

「十九の会」について

木下 成一(高2)

旧制中学48回卒、旧制女学校35回卒、高校2回卒と三様の同期を併せ、入学時で一体感を持たせようと命名した。また疎開による転校生も多く現在、「関東十九の会」が存在し、会員は50名余で毎年交流を持ち、平成18年度は谷口守正氏、石川基子氏の世話で男25名、女29名が参加した。

平成19年度は幹事河内秀雄、古屋洋子両氏が担当します。

喜寿記念「十九の会」詳細は、別途8月中に通知します。

「高9期」

日時 8月20日(月)〜21日(火)
場所 和倉温泉「加賀屋」
「卒業50年記念同窓会」
連絡先 幹事 戸部 信六(高9)
☎(0767)7212200
是非ご参加を。

「高10期」

日時 平成19年9月19日〜24日
場所 アメリカ
ボストン ニューヨーク

「第十回記念実年修学旅行」

連絡先 旅行事務局 松浦 正武
☎(0767)5310472

アメリカ東部二大都市満喫の旅

松浦 正武(高10)

大リーグ観戦とミュージカル鑑賞、テロ跡の見学など。募集人数は20〜30人(15人で試算)です。

「高17期」

日時 平成19年8月17日(金)
場所 和倉温泉 旅館未定
連絡先 幹事代表 大岩 為一
☎(0767)5211061
会費 25,000円
詳細は後日連絡

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)推進室から

快学!!

● 館 農 悠 紀 君 (理数科2年生)
全国高校化学グランプリ銅賞

全国から1,318人が参加。館農君は二次試験
通過者61人に残り銅賞を受賞。さらに平成19
年開催の国際化学オリンピックの日本代表候補
9人にも選ばれました。

SSHの成果続々!

- 越馬科学賞 学校表彰 — SSC(スーパーサイエンスクラブ)活動への評価!
- 数学オリンピック予選を通過 — 館 農 悠 紀 君により 本校初!
- 日本生体医工学会 高校生科学コンテスト入賞 — 課題研究でロボット班 健闘!

3年間の文科省の指定により、科学を志す多くの生徒を育成し、数々の
業績を築くことができました。この事業をさらに推進していくためには、
大学や研究機関の先生方との連携が不可欠です。

つきましては「母校で専門分野の授業」をしていただける同窓諸兄姉の
皆さま、自薦他薦を問わず、昨年同様SSH室まで連絡をお願い致します。
また、海外への研修を実施することも視野の中にあります。海外在住の方
にはインターネット等でご連絡いただき、ご協力願えれば幸いです。
(81)0767-52-3187(内線22) E-mail:nanafh03@mx.ishikawa-c.ed.jp

母 校



▲朝日レガッタ (於:琵琶湖) 出艇直前の七高チーム (手前)



▲H18県高校総体800M決勝でトップを力走する山田選手



▲H18大阪インターハイ 気迫漲る七高女拳士たち



▲今年こそ「佐賀インターハイ」を勝ち獲ります!!

教 諭 花島由喜夫

文部科学大臣優秀教員表彰

校 長 谷 口 祐 弘 (高18)

全国理科教育大会教育功労賞
越馬科学賞功労者表彰平成十八年度
教職員等の表彰

七尾高等学校

越馬科学賞(学校表彰)

P T A 役員名簿

任期 平成18年5月10日～平成19年5月9日

役 職	氏 名
会 長	久 保 聡 (高27)
副会長 (学 習)	山 口 成 俊 (高26)
副会長 (学 習)	北 原 ヒロミ
副会長 (情 報)	高 橋 和佳子
副会長 (情 報)	新 保 康 彦 (高26)
副会長 (生 活)	下 出 理恵子
副会長 (生 活)	田 中 和 彦 (高26)
監 事 (情 報)	久 保 勝 康
監 事 (生 活)	木 下 敬 夫
監 事 (生 活)	黒 崎 直 人
監 事 (学 習)	酒 屋 利 信 (高26理)
監 事 (学 習)	杉 木 勉
会 計	薛 修 治 (高27)
会 計 (事務長)	坂 口 初 男
書 記 (PTA係)	中 澤 賢
書 記 (PTA係)	山 本 桂 子

県総体

■ バスケットボール

男子準々決勝
七尾0-2小松工業
女子決勝トーナメント2回戦
七尾0-2金沢桜丘
能登地区選手権
男子2位
女子1位

県総体

■ バレーボール

男子準々決勝
七尾0-3北陵
女子団体戦準決勝
七尾0-3田鶴浜
女子個人ダブルス ベスト16
湯口 結子、鶴之智智瑞香
女子個人シングルス
ベスト16 湯口 結子

県総体

■ 卓 球

男子団体戦2回戦
七尾2-3北陵
女子団体戦準決勝
七尾0-3田鶴浜
女子個人ダブルス ベスト16
湯口 結子、鶴之智智瑞香
女子個人シングルス
ベスト16 湯口 結子

中部選抜

女子舵手付きクオドルプル
準決勝
廣野 舞季、吉田 知里
半座由季子、福島せり野
川崎 仁美

準々決勝

青野 友恵

県総体

■ 水 泳

男子準々決勝
七尾0-2小松工業
女子決勝トーナメント2回戦
七尾0-2金沢桜丘
能登地区選手権
男子2位
女子1位

県総体

■ バドミントン

男子準々決勝
七尾2-3星稜
男子個人ダブルス ベスト16
延命 徹、林 晋
男子個人シングルス
ベスト16 林 晋
女子2回戦
七尾2-3金商

県総体

■ ソフトテニス

男子3回戦
七尾1-2航空第二
女子2回戦
七尾0-2小松市立

県総体

■ 選抜優勝大会

男子決勝
七尾71-88金沢
魚津ミラージュカップ
男子1位
ソフトテニス

男子3回戦

七尾50-75金沢
七尾54-92大聖等

女子2回戦

七尾54-92大聖等

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子50m自由形
2位 澤田 翔太

県総体

男子100m自由形
5位 澤田 翔太男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

県総体

男子100m自由形
7位 中山 敦男子100m自由形
7位 中山 敦

払込取扱票 通常払込料金 加入者負担

02 石川県立七尾高等学校同窓会

〒220-0033 神奈川県横浜市西区大手通1-2-3-408 (045)432-8765

払込金 10,000円

払込金受領証

石川県立七尾高等学校同窓会

〒220-0033 神奈川県横浜市西区大手通1-2-3-408 (045)432-8765

「名刺交換帳」に掲載をご希望の方(10口)は払込取扱票の通信欄に「勤務先」「役職名」「勤務先住所・電話・E-mail」等を記入ください。ご退職の方は冒頭に「元」と付してください。平成19年7月末までに納入くださいました方について、「七尾高校同窓会名刺交換帳」としてとりまとめ、お届けします。ご活用ください。

「運営協力金拠出」のお願い

昨年は多大なご支援をいただき役員一同深く感謝申し上げます。払込票の通信欄には短いメッセージが添えられている方もあり、たくさんの反響に励まされております。今年も多数の皆さまからの一層のご協力をお願い申し上げます。

今年度は募金の継続と会員間の情報交換や利便性を高めるために「名刺交換帳」を作成しますのでご活用いただきたいと思います。お名前掲載をご希望の皆さまは左記の要領でご協力ください。

「名簿」発行のお知らせ

創立110年(平成21年)を前に「平成20年版同窓会名簿」を発行します。近く「同窓会連絡ハガキ」をお送りします。必要事項をご記入の上、事務局へご返送ください。

「七高新聞」を探しています

― お宅に眠っていませんか? ―

昭和23年6月創刊の「七高新聞」は、平成19年3月で、180号を迎えました。「七高新聞」には、約60年にわたる七尾高校の歴史が綴られています。来る平成21年の創立百十周年記念事業として「七高新聞」の縮刷版の刊行も計画されています。

ところが、創刊号、2号、4号は保管されていませんが、3号、5号以降、七尾高校に残っていないものもあります(別表を参考にしてください)。そこで、同窓会では、七尾高校の歴史の証人とも言える、「七高新聞」のバックナンバーを探しています。同窓生の皆さまのご協力が頼りです。お宅に、高校時代の資料が眠っていませんか? もし、「七高新聞」や校内刊行物が眠っていましたら、同窓会事務局まで一報下されば幸いです。昭和20年代、30年代に七高生だった方、本校の職員だった方、そういう方を身内にお持ちの方、ご協力をお願いします。

編集後記

▼皆さんからの応募をもとに名称を改め、清水義一(聖徳)さんの協力を得て題字も一新しました。また、若い3人のスタッフによる新しい企画を加えました。この便りが母校への想いと同窓生同士の絆をいっそう深める一助となれば幸いです。なお、誌面についての感想やご意見がありましたら、事務局にご一報下さい。

編集長 高橋 正俊(高17)

故郷は驚天動地の事態となりました。

北口貴美恵(高29)

旧校舎が取り壊される時、寂しいだろうなあと感じています。SSH事業への協力よろしくお祈りします。

金岡 利宏(高34)

七高探検隊。これからも皆様の思い出を探します。

埴浦 竹下、谷内

▼多数の投書や寄稿をありがとうございました。同窓生の想いが幾重にも織り込まれた第28号が、皆様の活力源となりますよう願っています。

郵便、FAX、HPアクセス歓迎。ご意見をお寄せください。

事務局 釜谷美智子(高24)

能登半島地震発生に際しまして各方面からご心配やお見舞いの声をいただきありがとうございます。被災地の日も早い復興とともに応援いたします。

母校教諭 干場茂樹様(高33)には平成19年3月ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

別表 残存していない七高新聞一覧

第3号	昭和23年	第37号	昭和30年頃
第5号	昭和23年頃	第38号	昭和30年頃
第6号	昭和23年頃	第39号	昭和30年頃
第7号	昭和24年頃	第40号	昭和31年頃
第8号	昭和24年頃	第41号	昭和31年頃
第9号	昭和24年頃	第42号	昭和31年頃
第11号	昭和25年頃	第43号	昭和31年頃
第12号	昭和25年頃	第44号	昭和32年頃
第13号	昭和25年頃	第45号	昭和32年頃
第15号	昭和25年頃	第46号	昭和32年頃
第16号	昭和25年頃	第47号	昭和32年頃
第17号	昭和26年頃	第48号	昭和33年頃
第18号	昭和26年頃	第56号	昭和34年頃
第19号	昭和26年頃	第57号	昭和34年頃
第20号	昭和26年頃	第59号	昭和36年頃
第22号	昭和27年頃	第61号	昭和36年頃
第31号	昭和28年頃	第62号	昭和37年頃
第32号	昭和28年頃	第67号	昭和38年頃
第34号	昭和29年頃	第76号	昭和41年頃
第35号	昭和29年頃	第90号	昭和47年頃
第36号	昭和29年頃		

発行年は一部推定です